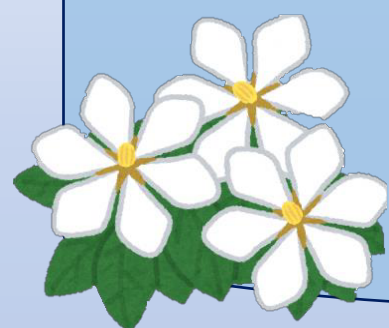
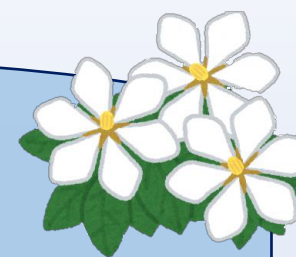


安田町地域公共交通事業 ～これまでの歩み～



自然体で暮らす

いなか王国・高知県安田町

社会的背景

～将来的な移動への不安～

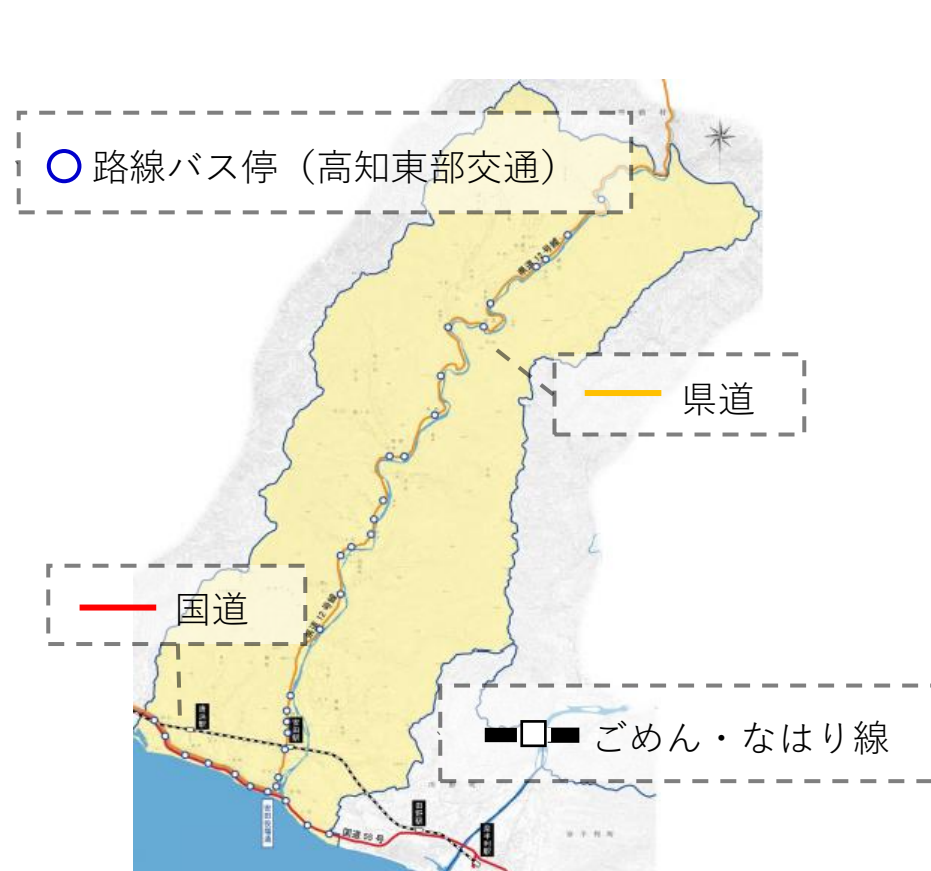


安田町は、高知市から東へ約50kmの海外沿いに位置し、安芸市、馬路村、北川村、田野町に隣接しています。

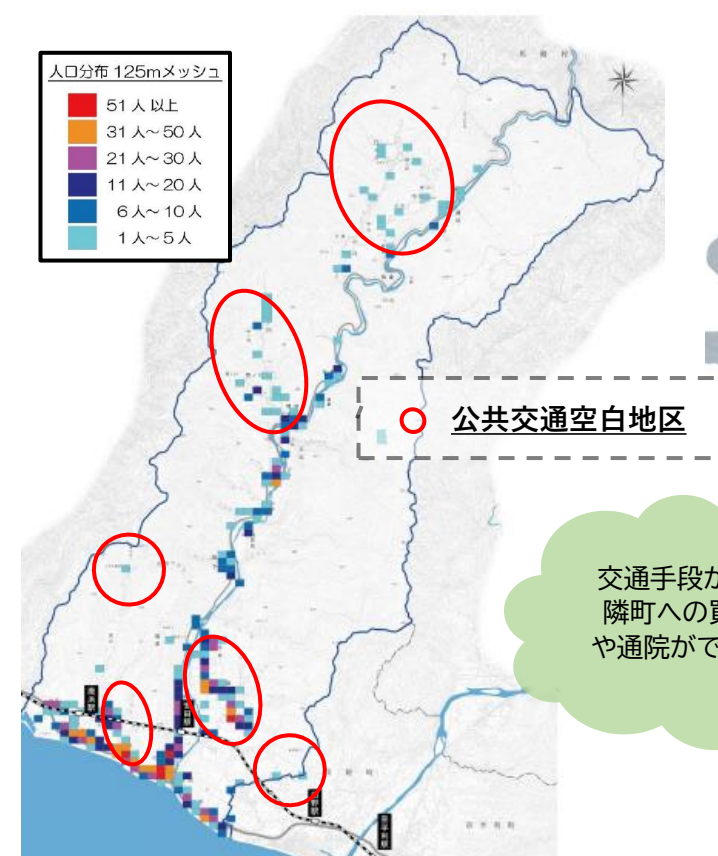
本町は、馬路村に向けて縦に長い地形となっており、国道および県道周りを中心に人口が分布しています（平成27年国勢調査より）。

本町内には、鉄道線として土佐くろしお鉄道株式会社が運行するごめん・なはり線と、路線バスとして高知東部交通株式会社が運行する安芸営業所一室戸・甲浦方面をつなぐ路線と安芸営業所一馬路・魚梁瀬をつなぐ路線がそれぞれ運行しています。本町には鉄道線の駅として、安田駅と唐浜駅の2駅がありますが、安田駅は町の中心部（国道55号交差点）より、北東に約900m離れており、利用者や安田地区の住民からの不満の声が多く寄せられています。

また、平成29年10月に行った『町民の生活交通に関する意識』のアンケート調査の結果、回答者の約38%が「家族に高齢者（65歳以上）がいる」と回答しています。同アンケートにて「自動車等の運転免許を持っていない人」は全体の約24%存在しており、所持する移動手段について「移動手段がない」と回答された方は全体の約10%いました。回答者の大多数が日常的な移動で車を使うと回答したものの、車の運転（自他含む）について近い将来に不安があるかどうかという質問には、全体の約45%が「10年以内に難しくなる不安がある」と回答しています。



図：安田町の公共交通網

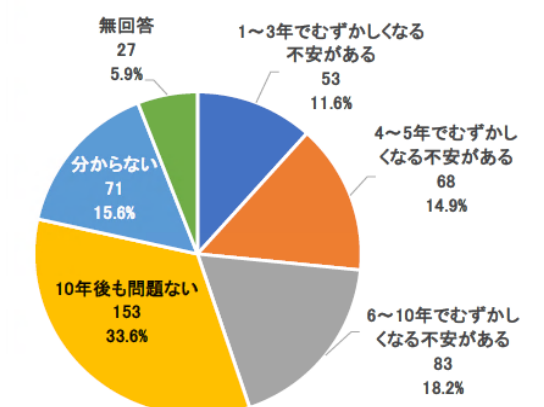


図：安田町の人口分布〔125mメッシュで表示〕
（出典：平成27年国勢調査より）



交通手段がなく、
隣町への買い物
や通院ができない

数年後車を運転できなくなったら不安だわ。。



図：自家用車利用の将来について



～地域の交通まちづくりに向けて～

平成29年度の調査の結果

導き出された

課題を解決するための

取り組み案をまとめました

その1

公共交通空白地区の解消

- ・対象（地区・人）を絞り、対象の有する移動ニーズをさらに詳細に整理する
- ・地域住民同士の協力による移動手段導入の検討
- ・試験運行を目指した運行計画の作成
また、その実施と検証および改善計画の検討
- ・必要に応じた手続きと情報発信
- ・利用促進策と連携し、運行を持続させる

その4

バス停留所における安全確保と環境改善

- ・警察に対する危険な歩道への横断歩道（もしくは信号機）の設置要望
- ・バス停留所における抜本的な安全確保策の検討
- ・可能なバス停留所へのベンチ及び建屋の設置
- ・その他、バス停留所の環境改善
（例：路線図・時刻表・運賃表の掲示、停留所周辺の案内の掲示）
- ・利用者に対する改善の取り組みの周知と要望への対応

その2

既存の公共交通網の利用促進

- ・利用者（及び町民）からの既存の公共交通網に対する改善要望を把握し、整理する
- ・既存公共交通網に対する改善計画を運行事業者に要望する
- ・安田町福祉ハイヤー事業のさらなる有効活用策の検討
- ・利用者（及び町民）にさらなる利用につながる取り組みを実施していく
（例：乗り方教室の開催、公共交通を使ったミニイベントの実施）

その5

広域で考える公共交通網

- ・近隣の自治体との協議開始
- ・既存の公共交通網の維持のために必要な協議を関係する自治体と行う
- ・中芸地域におけるコミュニティ交通網の持続する在り方について広域による検討を開始

その3

公共交通網の持続につなげる取り組み

- ・公共交通の利用方法や便利な使い方、お得感のある利用方法などを伝える
「乗り方教室」の実施と継続
- ・利用者となる町民との意見交換を通じた、移動ニーズの把握と移動ニーズに合う運行形態への改善の取り組み
- ・既存の公共交通網や新しく検討する移動手段に関する情報を町民に対して発信し続ける
- ・子ども世代に対する公共交通の利用方法を学ぶ機会の創出とその継続

その6

公共交通網整備の在り方に戦略を持つ

- ・安田町のこれからの公共交通網の在り方を戦略的に整理する
→ひとつの手法として
安田町地域公共交通網形成計画の策定
- ・中芸地域で共有する広域の計画策定の検討
- ・公共交通網の在り方を戦略的に整理した基本方針を着実に推進

～自動車がなくても安心して 生活が続けられる町を目指して～

安田町地域公共交通網 形成計画を策定しました

地域公共交通網形成計画とは？

地域公共交通の現状と課題を整理し、地域全体の公共交通のあり方や、住民・交通事業者・行政の役割を定め、生活を支える移動を、『まちづくり』の視点とも関連させながら策定する計画です。

策定の目的

安田町では、買い物やお出かけなどの移動は、自動車に依存せざるを得なくなっている現状があります。一方で、少子高齢化の進行により移動が困難な高齢者等が増加傾向にあり、日常生活に支障をきたしている例が見受けられます。

このような状況を踏まえ、安田町として新たな公共交通網の整備に向けて、住民ニーズ調査、町内の関係団体や地域の方々との意見交換等等に取り組んできました。

日常の移動だけでなく、まちづくり、観光、更には健康、福祉、教育等の『**多目的に利用できる地域公共交通ネットワーク**』、『**まちづくりと一体となった面的な公共交通ネットワーク**』、そして『**持続可能な地域公共交通ネットワーク**』の構築などに取り組み、自動車がなくても安心して生活が続けられる町となることを目指して取り組むために策定しました。

少子高齢化が進行中



～現在までの取り組み～

令和元年8月30日

「バスの乗り方」、
「ICカードですか」の
利用方法を体験する教室を開催！！



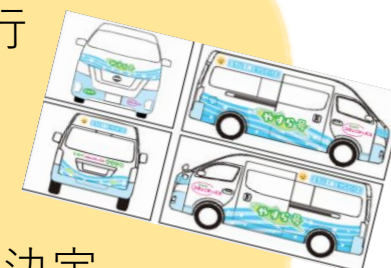
令和元年11月16日

安田町健康ふれあいまつりで
「バスの乗り方体験教室」
を開催！！



令和元年10月1日からお試し運行
&

コミュニティバスの
愛称と車両ラッピングの公募・決定



令和2年10月1日～

**安田町コミュニティバス『やすら号』の
本格運行が始まりました！！**



- ・ 運行ルート、運行時間等が記載された
広報資料を作成し、全戸に配布しました。
- ・ お得に利用可能な回数券を作成しました。
各バス内、役場本庁および中山支所でも
購入が可能です。
(身体障がい者や運転免許返納者等には
減免制度があります)

その他もこんな検討を進めています！！

- ・ やすら号の回数券台紙を活用した集客施設との
連携手法を検討しています。
- ・ 沿線の住民を対象として、「待合所の快適性向上」
と「バス利用者の安全性向上」に関するアンケート
調査を行う準備を進めています。
- ・ 近隣自治体である田野町との協議を進め、
利用者にとってより利便性が確保される運行体系
について検討を進めています。